

組織名	株式会社高田農園 ^{たかだのうえん} (代表:高田 和直)	農業地域類型	中間農業地域
経営理念	若者に人気のある会社	社員等	役員3名、臨時雇用12名
経営面積	25.2ha(水稻24.0ha、アスパラガス0.9ha、野菜0.3ha)、温室ハウス・育苗ハウス17棟(4,896㎡)		



1. 経緯

- 新発田市東新町において、代々、水稻を中心に経営してきた農業者が、平成18年頃から、アスパラガス栽培や特別栽培米等を原料にした味噌・塩こうじ等の商品化を実現。平成19年に、味噌等の製造を行う法人として株式会社高田農園（以下「高田農園」）を設立した。
- 高田農園は、令和2年の代替わりを契機に農業部門を導入し、**収益性が見込めるアスパラガス栽培**に力を入れている。
- 令和元年、臨時雇用をしていた地元の**若者を社員にし、令和5年に役員へ登用**。現在、水稻栽培と味噌等の製造は前代表と若手役員が、アスパラガス栽培は現代表が取り組んでいる。

2. 課題と対策

- アスパラガスの鮮度の維持やコスト低減を図るため、消費地に近いさいたま市へ新たな経営農地を設けている。
- 経営農地の拡大に伴い社員を増やす必要があるため、新潟県が運営する新規就農者向けの研修場や学生向け**インターンシップ**の受入先に登録し、**若者の雇用**を図っている。

3. 特徴的な取組や工夫していること

- アスパラガスは、地元のスーパー等を中心に直接販売しているが、関東地方にも引き合いがあるため、令和6年4月から、**さいたま市の農地を借り受けて、経営農地（さいたま農場）を拡大**。
- 長期出荷（3月から10月まで）を可能とする「立茎長期収穫作型」を確立しており、**年間15トンを超える生産量を可能**としている。
- 独自の技術や土づくりにより、栽培開始した年から植え替えをすることなく栽培しており、「**太く柔らかく甘いアスパラガス**」の**品質向上**に努めている。
- 「春どり」は、雪解け水や、冬の寒さが糖分を高めて美味しくなるため、**首都圏のフランス料理店等から高い評価**を得ている。
- 自社の特別栽培米を原料に製造した**味噌を市内のスーパーや学校給食として出荷しており、「故郷の味」として親しまれている**。
- 社員に作業を任せるため、スマホ等で作業工程や進捗を共有している。
- 肥料高騰が続いているが、土壌分析による適正施肥の強化、鶏糞の有効利用等、コスト低減に努めている。
- 「さいたま農場」の一角に、「**チャレンジ栽培ゾーン**」を設け、在来種等の特色ある品目にもチャレンジしていく。

4. 今後の目標

- 社員の給料が高く作業服もおしゃれに。「**社員であることがカッコイイ会社**」、「**若者に人気のある会社**」となることを目指している。

